

旭中央病院を

「安心してかかれる病院」に 千葉県も明智市長も責任放棄 住民の命と健康を守る責任を果たせ

地域住民のみなさん、御来院の皆さんへ

私たちは、千葉県内の医療・福祉、建設、運輸、自治体や国の機関、学校などで働く労働者でつくる労働組合のセンター『千葉労連』が中心になっている会（旭中央病院・宮本さんを職場に戻し、地域医療を再生させる会）です。

3月30日に旭中央病院は宮本隆さんを解雇しました。7月2日に、「この処分は不当であり即刻撤回すべき」と仲間が集まり、会を発足させ運動をすすめることを確認しました。

「不当な処分を職員に首を切るような病院の体質を改め、職員を大切にしていって真面目に地域住民の医療要求に応える病院にしていくこと」が私たちの基本的な考え方です。

ご一緒に力を合わせて、病院を再生させ安心して住み続けられる地域をつくらせていきましょう。
ご支援とご協力をお願いします。

東総地域の医療を守れ

千葉県は、医療方針として「県が担うのは高度医療で、地域医療は県が担うものではない」と地域医療に対する責任を放棄しています。そして、東総地域では旭中央病院にその責任がすべて丸投げされ、その結果、医師の疲弊がすすみ大量退職につながってしまったのです。千葉県の責任放棄が旭中央病院を治外法権化し、多くの職員は「蚊帳の外」、一部幹部の「やりたい放題」という状態にしまったのです。

私たちは、明智市長に対しても「住民の命と健康を守る立場から、不当に職員を解雇することや医師の大量退職を発生させるような病院の体質を改めるよう強く指導するのが市長の責任」と強く求めました。ところが、明智市長は「病院の運営は病院に任せてある」と、まったく無責任です。

東総地域の住民の命と健康を守る筈である旭中央病院の状態が、病院の経営幹部である柏木企画監が「臨界点（限界）に達している」としているのに、千葉県や明智市長が「あくまで旭市の病院」（千葉県）、「普段から関わっているわけではないので、病院に任せている」（明智市長）などという無責任な態度で許されるのでしょうか。このままでは、医師をはじめとする職員がどんどん辞めて病院が崩壊してしまいます。

引き続き、千葉県知事や明智市長に対し、東総地域の医療を守るために、その責任を果たすよう強く求めていきます。

